

1) 生化学分析

- ・血清/血漿への分離等、検体の調整は依頼者の方でお願いいたします。
- ・抗凝固剤についてはEDTAが使えない項目があるため、基本的にヘパリンの使用をご案内していますが、詳細は下記をご参照ください。使用する抗凝固剤は十分に混和してから遠心分離してください。
- ・溶血は極力させないようにしてください。測定値に影響します。
- ・余った検体は返却も可能ですので、測定項目に必要な量の合計より少し多め(再測定が必要になる場合もあるため)にご用意ください。検体返却を希望される方は依頼時にその旨を担当者にお伝えください。
- ・測定項目によっては試薬の在庫がない場合もありますので、ご利用を希望される場合は事前にお問い合わせください。

測定項目	抗凝固剤等	検体の種類と最低必要量 (1検体1項目あたり)	利用料金
グルコース (GLU)	① 解糖阻止剤は、フッ化ナトリウム含有採血管をご使用下さい。 この場合、フッ化ナトリウムの量は全血1mL当たり2.5mg以下で使用して下さい。 ② 解糖阻止剤を使用した場合でも解糖が徐々に進みますので、速やかに血漿分離して下さい。	血清または血漿 10 μ l	340円
尿酸 (UA)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下、EDTA塩は5mg以下にしてください。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	348円
総コレステロール (T-CHO)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下、EDTA塩は5mg以下にしてください。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	540円
トリグセライド (TG)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下、EDTA塩は5mg以下にしてください。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	480円
尿素窒素 (BUN)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下、EDTA塩は5mg以下で使用して下さい。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	348円
総ビリルビン (T-BIL)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリン又はEDTA・2Na塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり100単位以下、EDTA・2Na塩は10mg以下にしてください。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。EDTA・2K塩は溶血しやすいので使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	348円
カルシウム (Ca)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩は測定値に重大な妨害を与え、カルシウム測定値を0にすることがありますので、使用しないで下さい。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	348円
総タンパク (TP)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	348円
アルブミン (ALB)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下、EDTA塩は5mg以下にしてください。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	348円
無機リン (IP)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下、EDTA塩は5mg以下にしてください。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	360円
マグネシウム (Mg)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	348円
HDL-コレステロール (HDL-C)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないで下さい。	血清または血漿 10 μ l	1,680円

測定項目	抗凝固剤等	検体の種類と最低必要量 (1検体1項目あたり)	利用料金
血中アンモニア (NH ₃)	抗凝固剤は、EDTA塩、ヘパリンLi、及びヘパリンNaが使用できません。EDTA塩を使用するときは、血液1mL当たり10mg以下にしてください。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。カナマイシン添加採血管は使用しないでください。ヘパリンアンモニウムは絶対に使用しないでください。血清分離剤は、使用しないでください。	血漿 10μl	720円
クレアチニン (CRE)	抗凝固剤はヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり100単位以下、EDTA塩は5mg以下にしてください。フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	348円
GOT (AST)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	480円
GPT (ALT)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	480円
乳酸デヒドロゲナーゼ (LDH)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	348円
クレアチンキナーゼ (CPK)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	348円
GGT (γ-GTP)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり40単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	600円
アミラーゼ (AMYL)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	600円
アルカリフォスファターゼ (ALP)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	348円
クレアチンキナーゼアイソザイム (CKMB)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	720円
コリンエステラーゼ (CHE)	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリンが使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり50単位以下にしてください。EDTA塩、フッ化ナトリウム、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	720円
Na-K-Cl	ヘパリンNaを使用するときは血液1mLあたり10単位以下、ヘパリンLiを使用するときは血液1mLあたり50単位以下にすること。EDTA塩は使用しないこと。	血清または血漿 50μl	1,680円
ヘモグロビン (Hb)	ヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mLあたり50単位以下、EDTA塩は10mg以下にすること。	全血 10μl	340円
C反応性タンパク質 (CRP) ※イヌのみ対応可	血漿で使用する場合、抗凝固剤はヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mL当たり40単位以下、EDTA塩は10mg以下、フッ化ナトリウムは2.5mg以下にし、クエン酸、シュウ酸、モノヨード酢酸は、使用しないでください。	血清または血漿 10μl	1,680円

2) 血球計数

- ・抗凝固剤はEDTAをご使用ください。
- ・抗凝固剤はよく混和してください。凝固塊が存在すると正確な数値が測定できませんのでご注意ください。
- ・最低必要量は30 μ lですが、再測定が必要になる場合がありますので、多めにご用意ください。
- ・溶血は極力させないようにしてください。測定値に影響します。
- ・小動物(マウス・ラット等)の白血球分画はできません。

測定項目	抗凝固剤等	検体の種類と最低必要量 (1検体あたり)	利用料
イヌ・ネコ [RBC、WBC、HGB、HCT、 PLT+LY、MO、EO、GR] その他の動物 [RBC、WBC、HGB、HCT、 PLT]	抗凝固剤はEDTA塩を1mg/mLになるよう調整してください。ヘパリンを使用すると血小板数、白血球数に影響を与えますので使用しないで下さい。	全血 30 μ l	360円/依頼 +120円/測定 件数

注意事項

- ・担当者が不在にしている場合がありますので、依頼を希望される場合は事前の問い合わせをお願いします。
- ・測定結果のご報告はメールで行います。依頼時には連絡用のメールアドレスをお知らせください。
- ・検体はマイクロチューブに入れて施設受付までご提出ください。

担当者 杉本

連絡先 メール:iku@cc.okayama-u.ac.jp 内線:7445

※メール送付時、mfujii@md.okayama-u.ac.jpをCCに入れてください。

※迷惑メール対策のため、@を◎で表示しています。送信の際に変換してください。